学校だより

令和６年８月 28 日
８・９月号
福生市立福生第一小学校
統括校長　髙瀬　智子

福生一小ホームページ　https://fussa-1e.hs.fussa.school/

力を伸ばす２学期に

統括校長　髙瀬　智子

２学期が始まりました。子どもたちのにぎやかな声で学校は活気にあふれています。昨年も猛暑でしたが、今年も暑さが大変厳しい夏休みとなりました。

さて、この夏は、オリンピックが開催され、多くの選手の活躍を見ることができました。オリンピック・パラリンピックに出場するには、並々ならぬ練習と努力が必要であり、また、自分の力を大舞台で発揮させるため、気持ちを集中する鍛錬も必要であります。

今大会での多くの選手の活躍と、その姿に心打たれましたが、中でもスケートボード女子ストリートにおいて、14 歳の中学３年生　吉沢恋さんが金メダルを受賞したことは、若いアスリートの活躍として感慨深く感じます。

報道では、幼い頃のことを知るコーチは、吉沢さんは、決して技を覚えるのは早い方ではなく、むしろ時間がかかる方であった。でも、あきらめずにできるまで続けていたということを話していました。吉沢さんの幼い頃の様子を動画で見ましたが、何度も何度も練習を繰り返す姿が印象的で、努力を続けること、あきらめないことの大切さを改めて感じました。吉沢さんは、トップとなって更に次のロサンゼルスの大会を目指していくことを表明しており、今後の更なる活躍、そして、目標の実現を応援し、期待したいと思います。

子どもたちにも、年の近い中学生の人が努力を重ね、夢を実現している姿を自分自身の励みとして、目標に向かって努力をする大切さを感じ、自身の日常につなげてほしいと感じます。

学校は、子どもたちが学び、成長し、自分の可能性を広げていく場です。成長のためには、人と関わり、折り合っていき、ともに学んでいくことが大切です。同年齢、異年齢の子ども、学校の教職員、地域の方等、様々な人との関わりを通して、子どもたちは成長していきます。

この２学期は１年の中でも最も長い学期であり、日常の学習のほか、運動会、展覧会と学校全体での行事や各学年の行事・取組がたくさんあります。これらの取組を通して、人との関わりから学ぶ姿勢を大切にし、自分の力を伸ばし高めてほしいと思います。

子どもたちは久しぶりに会う友だちとの再会を楽しみに、また、新しい学期で頑張ろうと気持ちを新たにしていることと思います。学校の教育活動について御理解・御協力いただき、学校・保護者・地域でともに子どもたちの学びの充実と成長につながるようにしていきたいと思います。

お子さんによっては、久しぶりに登校することに、不安を感じていることもあるかもしれません。気にかかることがありましたら、学校にお知らせいただきますようお願いいたします。

～～幼保小・小中の連携に取り組んでいます！～～

子どもたちが切れ目なく、円滑に、そして、安心して学校での生活を行うためには、幼稚園・保育園と小学校の接続、小学校から中学校への接続が重要となります。福生市では、幼保小の連携、小中の連携の推進に力を入れており、本校でも取り組んでいます。

幼保小の連携では、１年生に入門期として、スタートカリキュラムを実践しています。また、小学校の担当者と幼稚園・保育園の担当者が意見交流をする会（５月、２月）を実施しています。また、１年生と園児で、ミニ運動会、小学校生活の紹介などの交流も行っています。

小中の連携では、第二中学校の学区の小学校と第二中で、授業を参観したり、学習指導や生活指導、ICT の活用、互いの情報を共有するなど、小中の教員の交流を図り、教育活動の充実につなげています。